

令和 4 年 6 月 17 日現在

機関番号：24501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2021

課題番号：18K00422

研究課題名(和文) Exploring Typewritten Literary Manuscripts via Kerouac's "On the Road"

研究課題名(英文) Exploring Typewritten Literary Manuscripts via Kerouac's "On the Road"

研究代表者

THEADO Matthew (Theado, Matthew)

神戸市外国語大学・外国語学部・教授

研究者番号：70733369

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：今回の研究では、ジャック・ケルアックの小説「路上」(1957年)のタイプライターを紹介した。ケルアックは36メートルの長さのロール紙に活字を打ちました。コロナウイルスの影響で、アメリカから日本に持ち込むことはできなかった。しかし、高精細のデジタルスキャンを入手し、日本の印刷会社が活字を複製した。BBプラザ美術館で1カ月間展示し、1,700人以上の来場者があった。ビート・ジェネレーションの作家の本300冊をフライングブックス(東京)のオーナー山路和弘氏から提供され、展示した。ギャラリートーク6回を含む。神戸市外国語大学にて、日米の研究者によるシンポジウムを開催。

研究成果の学術的意義や社会的意義

このプロジェクトは、ジャック・ケルアックとビート・ジェネレーションが与えた影響を日本人々に体験してもらうためのものでした。この展示会は、来場者にテクノロジーとアートの交差点、アナログとデジタルの区別について考えることを促しました。日本の研究者は、文学の構成要素としてのタイプスクリプトに注目するユニークな機会を得ることができました。研究者、学者、そして日本人に利益をもたらした。

研究成果の概要(英文)：The research focused on exhibiting the typescript for Jack Kerouac's novel "On the Road" (1957). Kerouac used a typewriter to produce the typescript on a 36-meter-long roll of paper. Due to coronavirus, we were unable to bring the typescript from American to Japan. However, we obtained high-definition digital scans, and a Japanese printing company reproduced the typescript in detail. This replica was the centerpiece of a month-long exhibition at the BB Plaza Museum of Art, attended by more than 1,700 visitors. The exhibition featured 300 rare books by Beat Generation writers, provided by Kazuhiro Yamaji, owner of Flying Books in Tokyo. The exhibition included six gallery talks. A symposium featuring Japanese and American scholars, including the Japanese translator of "On the Road," was held at Kobe City University of Foreign Studies. All of these events were open to the public and were simultaneously broadcast online, and videos of the events are archived on YouTube.

研究分野：Humanities

キーワード：Kerouac American Literature American Culture Textual study Typewriter

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

ジャック・ケルアックの『オン・ザ・ロード』の「スクロール」活字は、日本では未公開であった。2002年、研究代表者 Theado, Matthew がこの活字を調査した。その後、ケルアックが小説を打ち直す際に作成した活字を調査した。その結果をエッセイ「Revisions of Kerouac: The Long, Strange Trip of the On the Road Typescripts」として発表している。研究代表者は、ニューヨーク公共図書館のバグ・コレクションに所蔵されているジャック・ケルアックの文書のアーカイブ研究に従事した。彼の目標は、ケルアックの小説のテキストと構成の歴史について、徹底的な学術調査を行うことでした。

2. 研究の目的

目的は、日本の人々にケルアックのタイプライターを調べ、その構成過程を理解し、タイプライター技術の特徴をデジタル技術と対比させる機会を提供することである。このプロジェクトでは、日米の研究者が協力して、作曲におけるアナログ技術の役割を分析し、作曲と翻訳のプロセスに関連する利益と損失を評価しました。この研究は、『路上』のタイプライターを十分に鑑賞するための背景として、1950年代のアメリカのアナログ技術や文化的雰囲気を再現することを目指したものです。

3. 研究の方法

基本的な研究方法はテキスト分析であり、『路上』の活字の構成と構造を精査した。巻物のタイプライターは、後続のタイプライターや出版されたテキストと詳細に比較された。また、1950年代後半から1960年代半ばにかけて米国および世界の文化界で顕著であったビート・ジェネレーションの文学運動の文化的文脈の中で、このタイプスクリプトが紹介された。

4. 研究成果 Research Results

展覧会

主な研究成果として、BBプラザにて「ジャック・ケルアックの『路上』とビート・ジェネレーション」展を開催しました。ジャック・ケルアック『オン・ザ・ロード』とビート・ジェネレーション 書物からみるカウンターカルチャーの系譜展を開催しました。2021年7月3日～8月8日 神戸市立BBプラザ美術館

<https://bbpmuseum.jp/exhibition/ジャック・ケルアック『オン・ザ・ロード』とビ。>

『オン・ザ・ロード』のタイプライターレプリカ、タイプライター展示、書籍展示のほか、遺品、映像、解説プラカード、日米の文化事象を結びつけた総合年表などを展示した。この展示では、『オン・ザ・ロード』タイプライターを鑑賞するための背景として、1950年代のアナログ技術や文化の雰囲気が再現されました。また、展覧会に加えて、ギャラリートークを開催しました。

ギャラリートーク

2021/7/3 (山路和弘) 本をめぐる旅 ケルアックと仲間たち

<https://youtu.be/eiMkrOBdFXA>

2021/7/3 ケルアックとタイプライター

<https://youtu.be/1oA84D1rfPU>

2021/7/10 『オン・ザ・ロード』と映画

<https://youtu.be/WmGqGvUc9J4>

2021/7/24 タイプライターの歴史

<https://youtu.be/JHuiYj6yerQ>

2021/7/31 女性とタイプライター

<https://youtu.be/SiMqN2d-5gg>

2021/8/7 『オン・ザ・ロード』の女性たち

<https://youtu.be/MQyfNwA6XsE>

ギャラリートークはすべて YouTube で日本語と英語の音声付きでアーカイブされています。

シンポジウム

2021年7月17日、神戸市外国語大学で開催された学術シンポジウム「ケルアック『オン・ザ・ロード』の旅」(講演会およびインターネット同時中継)において、さらなる成果を発表した。講演会場とインターネット中継は一般公開されました。講演者は、日本からはアレン・ギンズバーグの詩「吠える」の翻訳者である柴田元幸氏、ケルアックの「路上」等の翻訳者である青山南氏、アメリカからはヒラリー・オラデー氏と Theado, Matthew が参加しました。展覧会とシンポジウムは、ほぼすべての内容が英語と日本語で紹介されました。

シンポジウムの講演者

青山南 "思う存分吹いて、思う存分書け"

柴田元幸 "1957年のアメリカ"

ヒラリー・ホラデイ "ケルアックのローウェル"

Theado, Matthew "原典のどこが原典なのか？オン・ザ・ロードの制作"

シンポジウムの模様は YouTube にアーカイブされています

<https://youtu.be/bI5W9UpvWaQ>

本の出版

オン・ザ・ロード：書物からみるカウンターカルチャーの系譜：ビート・ジェネレーション・ブック・カタログ

(On the Road: A Genealogy of the Counterculture in Books: Beat Generation Book Catalog)

山路、宮下、芳、衣川、将介、田内、万里夫、和広、Theado, Matthew, (担当:分担執筆)

トゥーヴァージンズ, 7月, 2021 (ISBN: 9784910352060)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------